

木造住宅・建築物等の整備推進に関する調査・普及・技術基盤強化 成果報告書

| | |
|--|--|
| 事業の名称 | 良質な木造住宅を供給するための基礎知識/技術の整理と講習会を活用した 技術基盤の強化の実証を行う事業 |
| 事業者情報 | 事業者名：一般社団法人 愛知県建設団体連合会 事業担当者名：鈴木 貴雄 連絡先： 090-3586-2740 mail：takao@dc5.so-net.ne.jp |
| 補助事業の区分 | 木造住宅・建築物等の整備推進に関する ① 調査を行う事業 ②普及を行う事業 ③技術基盤強化を行う事業 以上の①から③の中から該当するものを選択し、○をつけて下さい。 |
| <p>1. 事業の概要</p> <p>住宅の長寿命化が問われる中、新築に於いては長期優良住宅の普及促進がなされ、既存の住宅についても耐震・断熱性能の向上・高齢化社会を踏まえたリフォーム工事によって良質な住宅の構築が求められる中、これを達成する上で下記の三つの事業を行う事とした。</p> <p>1. 維持管理・住宅履歴をにらんだ現場技術者のIT講習会の実施</p> <p>① 現場技術者のIT講習会 PCを用いデジカメで撮影した工事写真をデータベースへの添付の仕方、又、その分類等についての考え方を含め実戦での作業講習会の実施（名古屋・三河地区等2会場程度で開催）</p> <p>② 建築CAD講座（初級） 施工図・竣工図の作成に当たりJWWCADのインストールから実際の作図、出力までの実践を行い容易に使えるような講座とする。（対象者・・・大工・現場管理者、設備業者） ・講座内容 イ）基礎伏図・梁伏図等の描き方及び注意点 ロ）電気・ガス・給排水配管竣工図の描き方と注意点 ・日程 平成23年2月初旬～中旬 ・会場 愛知県内 5回開催</p> <p>2. 木造住宅の長寿命化・維持保全の実施に向けた現場検査仕様の策定 ストック住宅の長寿命化に向け必要事項の内容・検証方法等について検討し既存木造住宅のインスペクションの基本の策定を行う。大工工務店がリフォーム前に建物調査を行うと共に建築基準法等の法的調査を行う基本事項・調査方法等について委員会を設け協議する。</p> <p>3. 工務店の為の木造住宅リフォーム実務・コストプランニング ストック型社会への時代の移行に伴いリフォーム工事需要の増加が考えられる中、「耐震」「省エネ」「バリアフリー」を取り込んだ高性能化住宅リフォーム工事に関する適正な工法と、低価格で高性能住宅を提供する為のコストプランニングを取り入れた講習会の実施。 資 料：リフォーム工事における施工マニュアル 2000部作成 日 程：平成23年3月初旬～中旬までに完了予定。</p> | |

※本報告書は各ページ毎に1つの項目を記載することとし、全3ページとする。なお、本報告書以外にも別添の資料がある場合は2枚を限度に本報告書に添付すること。

| | |
|-------|---|
| 事業の名称 | 良質な木造住宅を供給するための基礎知識/技術の整理と講習会を活用した 技術基盤の強化の実証を行う事業 |
|-------|---|

2. 事業で得られた成果

1) 維持管理・住宅履歴をにらんだ現場技術者の IT 講習会の実施

現場技術者の IT 講習会概要編

| 実施日 | 開催場所 | 参加者 |
|-------|-------------|-----|
| 2月26日 | 安条市民会館 | 32名 |
| 3月5日 | 中京大学文化市民会館 | 42名 |
| 3月24日 | ハートフルスクエア G | 22名 |



現場技術者の IT 講習会実践編

| 実施日 | 開催場所 | 参加者 |
|-------|--------------|-----|
| 3月10日 | 愛知県建設センター | 14名 |
| 3月13日 | | 15名 |
| 3月13日 | | 11名 |
| 3月16日 | | 20名 |
| 3月18日 | 碧南市ものづくりセンター | 14名 |



参加者の取り組みに関する意識が高く、今後の必要性を感じた。継続した実施の必要性を感じた。

【講習会風景】

2) 木造住宅の長寿命化・維持保全の実施に向けた現場検査仕様の策定

5回のワーキング部会を開催しインスペクションの考え方、基準等を検討しチェックシート等の作成を行い現場における検証を行った。・別紙詳細添付



【現場検証風景】

成果物：・インスペクションツールの策定

- ・「すまいの見守りすと」報告書版
- ・「すまいの見守りすと」現地調査版
- ・試行実施事例（インスペクション報告書の雛型）

今後、実務の上で現場のインスペクションを行う資料として有効なツールが作成できた。

当ツールの実務での検証により、有効性を確認した。

3) 工務店の為の木造住宅リフォーム実務・コストプランニング事業の実施

「耐震」「省エネ」「バリアフリー」工事における高性能化住宅リフォーム工事に関する適正な工法と住宅のコストに対する考え方を検討する資料を作成し講習会を開催した。

開催日：3月15日 17:00～ 中京大学文化市民会館 参加者 64名

成果物：木造住宅リフォームマニュアル・コストプランニング講習会テキスト

※本報告書は各ページ毎に1つの項目を記載することとし、全3ページとする。なお、本報告書以外にも別添の資料がある場合は2枚を限度に本報告書に添付すること。

| | |
|--|---|
| 事業の名称 | 良質な木造住宅を供給するための基礎知識/技術の整理と講習会を活用した 技術基盤の強化の実証を行う事業 |
| <p>3. 今後の展望及び成果の普及方法</p> <p>本年度は、大工・工務店の現場技術者のスキルアップを目指して、HPの活用、エクセルによる現場写真管理とCAD活用のためのIT関連を中心として、講習会を行った。</p> <p>本事業で得られたリフォームに関する成果、「大工・工務店によるインスペクションガイドライン」、「木造住宅リフォームマニュアル」、「木造住宅のリフォーム工事の見積もりマニュアル」については、パンフレットによる普及を行ったが、マニュアルによる講習会は、完成が3月初旬となったため、1回行われたのみとなった。したがって、今後は、既存住宅のリフォーム工事に向けて、評価（インスペクション）から始まり、耐震・省エネ・高齢者対応の技術基準と知識・その施工方法の普及を図る。</p> <p>1) 適正な維持管理と住宅履歴の蓄積に向けた現場技術者のIT講習会の実施</p> <p>定員を超える応募があり、参加者の意識は高く真摯な取り組みが感じられたが、参加者のCADの保有率は46%に上っていたものの、実際に活用できる人材は少なく、新築やリフォームの現場における品質を向上させるためには、CAD等のIT技術の習熟度に応じた定期的な講習システムが必要となっている。</p> <p>2) 木造住宅の長寿命化・維持保全の実施に向けた施工手法の整理検証</p> <p>大工・工務店によるリフォーム工事に向けた第1ステップとして、インスペクションガイドライン（目視診断）の策定までが今年度事業であったが、これを普及させていくためには、その施工手法の整理とその検証が必要となる。</p> <p>インスペクションガイドラインに沿った、既存住宅のデータを収集するとともに、そのデータを整理し、改修のための設計・施工手法の確立を行わねばならない。</p> <p>本マニュアルは、既存住宅の改修のみならず、住宅点検の際のマニュアルあるいは営業ツールとしての活用も視野に入れ編集されており、講習会等に於いてインスペクションの意義・目的を大工・工務店に伝えていく必要もある。</p> <p>3) リフォーム工事における適正なコストを算出するコストプランニング手法の普及</p> <p>リフォーム工事に於いては、同じ工事を行っても工務店の数だけ、違う単価が存在すると言われ、建築主の判断を惑わす原因となっている。本年度作成した「木造住宅のリフォーム工事の見積り」マニュアルを用いた講習会を開催し、リフォーム工事における適正なコストプランニング手法を講習会で普及させ、ユーザーとのトラブル防止につなげる。</p> <p>また、上記のリフォーム工事の施工手法の整理検証と合わせて、コストのシミュレーションを行うなどのことも考えられる。</p> | |

※本報告書は各ページ毎に1つの項目を記載することとし、全3ページとする。なお、本報告書以外にも別添の資料がある場合は2枚を限度に本報告書に添付すること。